

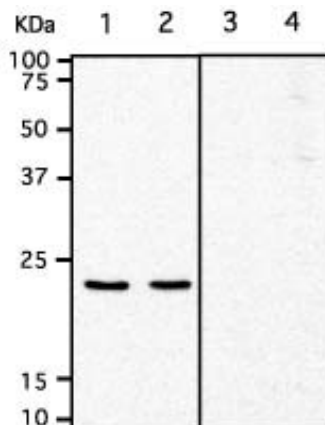
抗 マウス Addicsin ポリクローナル抗体

Addicsin (別名 GTRAP3-18) は、モルヒネ耐性依存状態のマウス扁桃体において、mRNA の発現量が特異的に増加する遺伝子として単離された新規因子です(1,2)。一方、GTRAP3-18 は、酵母 two hybrid 法により、神経型グルタミン酸トランスポーター (EAAC1) 結合蛋白質をコードする遺伝子として同定され、Addicsin のラットホモログであることが明らかとなっています(1,3)。

Addicsin は、脳におけるグルタミン酸濃度調節に関与することから、神経可塑性現象、さらには、麻薬中毒、痴呆、てんかん等の病態に関与する因子として注目されています。

本抗体は、マウス Addicsin の部分ペプチドを抗原として作製された抗原アフィニティ精製ポリクローナル抗体で、マウス脳内に存在する Addicsin をウエスタンブロッティングにより特異的に捉えることが可能で、免疫組織染色にも有用です。神経可塑性現象の分子メカニズム、情動の分子メカニズム、精神神経疾患の発症メカニズムなどの研究への応用が期待されます。

容量	25 μ g (100 μ L/vial)
形状	ウサギポリクローナル抗体 0.25mg/mL、凍結品
バッファー	PBS [2% ブロックエース (安定化蛋白)、0.1% proclin 含有]
保管方法	- 20 以下 抗体を低濃度にて冷蔵保管されますと、失活する恐れがあります。 融解後は 4 で保存し、お早めにご使用下さい。 また凍結融解を繰り返すことは避けて下さい。
製造方法	マウス Addicsin の部分ペプチドを免疫して得られたウサギの抗血清より、ペプチドアフィニティーカラムにて精製。
使用濃度	ウエスタンブロッティング: 1 ~ 5 μ g/mL 免疫染色: 0.5 ~ 2 μ g/mL



ウエスタンブロッティング

sample: マウス全脳 (ddY 系、雄、6 週齢) ホモジュネート上清

Lane 1,2: 抗 Addicsin 抗体

Lane 3, 4: 部分ペプチドによる吸収操作を施した抗 Addicsin 抗体

提供:

独立行政法人 産業技術総合研究所 年齢軸生命工学研究センター

池本 光志 先生

抗 マウス Addicsin ポリクローナル抗体

【参考文献】

1. Ikemoto MJ, et al. ; Neuroreport 16, 2079-2084, 2002.
2. Ikemoto M, et al. ; Nature Medicine 6, 910-915, 2000.
3. Lin CI, et al. ; Nature 410, 84-88, 2001.

製造元

 株式会社トランスジェニック

〒650-0047 兵庫県神戸市中央区港島南町 7-1-14

TEL: 078-306-0295 FAX:078-306-0296

URL:<http://www.transgenic.co.jp> techstaff@transgenic.co.jp